初

**仕合わせの**

**生きる目的とは**

**信仰心が導く**

**人の縁　心の輪**



**真成寺**ホームページ

編集・発行

玉蓮山　真　成　寺

編　集　部　谷川久仁子

TEL・FAX　**0765-22-2268**

携　帯　　**080-3744-2523**

こちらの番号でも

お寺につながります。

第２６０号

　令和５年１１．１

　　（毎月１日発行）

住職　谷川寛俊

宗祖日蓮大聖人は、「まず臨終の事を習（なろ）うて、次に他事を習（なろ）うべし。」とお教えになりました。

私達の生きる目的とは何でしょうか？

**▼**我々は死後、（霊界）　におもむき、そこで全生涯における「善業」と「悪業」の評価がなされます。

▼その善・悪の行い（）によって、

次に生まれ変わる環境が決まると

いいます。

　**▼**我々は現在世において、過去世の

**悪**業を消滅させるよう生きなければならないのであります。

（罪障消滅（ざいしょうしょうめつ））

　

**▼**更に、生まれ変わり、死に変わり（輪

廻転生（りんねてんしょう））しつつ、完全

なる人格を目指して努力、精進をし

なければならないのです。

我々の人生は因果（原因→結果の関係））

という宇宙を貫く法則。ごまかしのきかない厳正なる理（ことわり）というものを知る必要があるのです。

よく「死ぬまで勉強」といいますが本当ですね。来世の為に徳を重ね、功徳を積むという大切な行いがあります。又、死の直前まで学び、修行するのも自分の次の人生への準備のためでもあるのです。良い人生を送るための修行、精進をどのように行なえばいいのでしょうか？

まず、怒（いか）る、怨（うら）む、羨（うらや）むという三毒をしないことです。

慈悲の心をもって人々に喜んで頂ける行いを一つでも多くすること。そしてそれらに対するお礼や、報いを求めない修行、これを菩薩行というのです。

この菩薩行とは、他の人々を救うという行為の中にこそ、自己の救いがあるのです。

　**つまり三毒を封じて菩薩道に生きることこそ、私達の生きる目的なのです。今からでも決して遅くはありません。一歩ずつで良いから実行し良い人生を送りましょう。**

　　　　　　　